

この街に
この人あり

中年男性が地域で仲間を作り、楽しく生きるために



染谷貞夫さん

杉並区で20年近く「杉並おやじ遊友塾」の塾長として活動している染谷貞夫（そめや・さだお）さんに、お話を伺いました。

「おやじ遊友塾」とは、どのような団体なのですか？

「おやじが地域で楽しんでネットワークを作る」を主旨に、月1回の定例会を開いて企画を話し合い、年間5～6回イベントを実施しています。参加者は塾友といって、現在は30人ほどいます。ふだん地域とのつながりのない、中年の男性達が地域で仲間を作り、楽しく生きていくことが重要だと思っています。ゆるいつながりが大切です。

どのようなきっかけで、このような塾を？

1994年に杉並区社会教育センターが実施した、「おやじ雑学塾」が基になっています。私は「雑学塾」の最初から参加しています。それまで仕事中心で生きてきましたが、病気という転機があって、家庭・地域とのつながりが大切なことに気がつき、区報に載っていた「雑学塾」の企画委員に応募しました。「雑学塾」は2年で終わりましたが、参加者が任意で集まって、「おやじ遊友塾」が結成されたのです。

主なイベントの内容は？

会の主旨に沿う一番のイベントは、トムソーヤ体験です。房総のプライベートビーチで自炊・野宿して、子供時

代にやり残した体験をしましたが、最近は高齢化で野宿は厳しくなりました。そのほかには、七福神巡り、そば打ち体験、花見・句会、山登り、講演会などを実施しています。去年は、都電を貸し切り、塾友の子供世代と一緒に楽しむ会も行いました。



花見・句会



都電を貸し切って若者と演奏合戦

※今後のイベントの予定

10月25日(日) 知性と味覚を磨く大人のワイン講座

12月12日(金) 望年会(忘年会ではありません)

※問い合わせ先: ssome@mail.goo.ne.jp

ご興味のある方は一報を！